

外来精神医療学会・産業精神保健学会・うつ病学会総会 三学会合同告知のお知らせ

気分障害と認知症の患者数急増を受け、厚生労働省は平成 25 年度からの医療計画で精神疾患を重点的な疾患に加えることを決めました。厚労省の患者調査（平成 20 年）では年間の精神疾患患者数が 323 万人で、うち気分障害患者は 104 万人です。気分障害患者数の多さが際立っています。なぜこんなにも患者が激増しているのか、限られた医療資源の中でどのような治療が最善であるのか、うつ病の治療はいつまで続ければよいのか、そもそもうつ病の疾患概念の妥当性は？—このように検討課題が山積する今、精神医療従事者は重大な局面に立たされています。奇しくもこの 7 月、3 つの学会がこれらの難題に正面から取り組むべく、連続して開催されます。多くの方々と共に考える月間になりますよう、ご参加をお待ち申し上げます。

第 12 回日本外来精神医療学会会長 張 賢徳
第 19 回日本産業精神保健学会会長 渡辺洋一郎
第 9 回日本うつ病学会総会会長 石郷岡 純

第 12 回日本外来精神医療学会開催のご挨拶

平成 24 年 7 月 7 日（土）・8 日（日）、帝京大学板橋キャンパス（東京都板橋区）にて第 12 回日本外来精神医療学会を開催することとなりました。大会テーマを「日本型の精神医療を考える」としました。さまざまな制約がある中で、日本の現状で実践できる精神医療を真正面から考える、そのような大会にしたいと思います。日本の精神医療の歴史と展望、諸外国との比較、多職種チーム医療、宗教と精神療法の問題、日本型のカウンセリング、そして外来で困難を感じることの多い摂食障害、BPD、発達障害、認知症などの治療に関するプログラムを予定しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 12 回日本外来精神医療学会会長 張 賢徳

第 19 回日本産業精神保健学会開催のご挨拶

平成 24 年 7 月 13 日（金）・14 日（土）、大阪国際会議場にて第 19 回日本産業精神保健学会を開催することになりました。本学会は、精神科医、心療内科医、産業医、産業看護職、心理職、ケースワーカー、衛生管理者などの多職種からなる企業内外のメンタルヘルス担当者、さらに、職域の管理監督者などメンタルヘルスに関係する人々が一堂に会して学術の交流を図ることにより、もって産業精神保健の発展と向上に寄与することをその設立目的とした学会です。

今回は「あたらしい日本型産業精神保健の幕開け～優しさと業績の両立が可能な社会をめざして～」をテーマに開催いたします。是非とも多数の皆さまのご参集をお待ちしております。

第 19 回日本産業精神保健学会会長 渡辺洋一郎

第 9 回日本うつ病学会総会開催のご挨拶

平成 24 年 7 月 27 日（金）・28 日（土）、京王プラザホテル（東京都新宿区）にて第 9 回日本うつ病学会総会を開催することになりました。本学会は、うつ病など気分障害に関心のある医療従事者が集まり、気分障害の研究や情報発信を目的として設立されました。毎年参加者の数も増大し、この領域に対する社会の関心が高まってきていると実感しています。

今年の年会のテーマは、「今こそ問う、うつ病のパースペクティブ」といたしました。うつ病概念の拡大という現象をポジティブな視点で考えていきたいからです。すでに多彩なプログラム内容が決定されておりますので、皆様方多数の参加をお待ちしています。

第 9 回日本うつ病学会総会会長 石郷岡 純